

テクノロジーが 支える 健康長寿の 最前線



▶ 講演 1 9/6 (金) 公開

未知の領域へのAI航海:基礎から認知症診断への挑戦

東京都健康長寿医療センター研究所
神経画像研究チーム 専門部長

亀山 征史



▶ 講演 2 9/13 (金) 公開

ウェアラブル機器で楽しく続けるアクティブライフ

東京都健康長寿医療センター研究所
自立促進と精神保健研究チーム 研究副部長 笹井 浩行



▶ 講演 3 9/20 (金) 公開

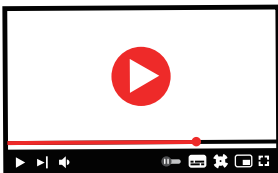
食生活面のフレイル予防と食事アプリの活用

東京都健康長寿医療センター研究所
自立促進と精神保健研究チーム 研究員 本川 佳子



講演動画を
YouTubeに
公開します。

3週に亘って全3回の動画
をお届けします。



オンライン開催

視聴方法

以下の URL もしくは二次元バーコードより
アクセスしてください。

[https://www.tmghig.jp/research/
lecture/gerontology/](https://www.tmghig.jp/research/lecture/gerontology/)

視聴
無料

申込
不要



お問い合わせ先

総務係広報担当

03-3964-1141 (内線1240)
ホームページ <http://www.tmghig.jp/>



地方独立行政法人

東京都健康長寿医療センター



テクノロジーが支える健康長寿の最前線

コーディネーター: 東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加とヘルシーエイジング研究チーム 研究副部長

村山 洋史

テクノロジー(科学技術)は、いつの時代も私たちの生活を便利で豊かにしてくれます。病院や健康づくりの現場でもテクノロジーは今やなくてはならないものになっています。本講演会では、テクノロジーが医療や予防にどのように活用されているかをご紹介します。特に、この言葉を聞かない日はないと言っても過言ではない「AI」(人工知能)、スマートフォン等で馴染みのある「アプリ」、そして身につけるコンピューターともいえるべき「ウェアラブル機器」に焦点を当てます。「なんだか難しそう…」と思ったあなた、ご安心ください。3人の演者が分かりやすく解説してくれます。テクノロジーがどう活かされているかをちょっと知るだけで、グッと身近に感じることができるはずです。



▶ 講演 1 9/6 (金) 公開

未知の領域へのAI航海: 基礎から認知症診断への挑戦

東京都健康長寿医療センター研究所 神経画像研究チーム 専門部長

亀山 征史

AIは急速に発展してきており、認知症などの医療分野においても応用されてきています。本講演では、AI技術の基本原則とその応用により、認知症診断の新たな地平がどのように切り拓かれているかを探ります。



▶ 講演 2 9/13 (金) 公開

ウェアラブル機器で楽しく続けるアクティブライフ

東京都健康長寿医療センター研究所 自立促進と精神保健研究チーム 研究副部長

笹井 浩行

ウェアラブル機器は、腕や腰、ポケットなどに装着し、運動量や心拍数、睡眠などを継続的に測ることができる小型機器です。本講座では、これらの機器が健康長寿のためのアクティブライフにどう役立つかを最新研究と共に紹介します。



▶ 講演 3 9/20 (金) 公開

食生活面のフレイル予防と食事アプリの活用

東京都健康長寿医療センター研究所 自立促進と精神保健研究チーム 研究員

本川 佳子

フレイル予防の柱の1つは栄養・食生活で、普段の食事からフレイル対策を意識することが大切です。最近ではさまざまな食事アプリがあり、フレイル対策への活用が期待できます。本講座では食事アプリと食生活面のフレイル予防についてお話しします。



視聴方法

以下のURLもしくは二次元バーコードよりアクセスしてください。

(視聴無料・申込不要)

<https://www.tmg Hig.jp/research/lecture/gerontology/>



地方独立行政法人

東京都健康長寿医療センター

総務係広報担当

03-3964-1141 (内線1240)

ホームページ <http://www.tmg Hig.jp/>

詳細はこちら



リサイクル適性
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。